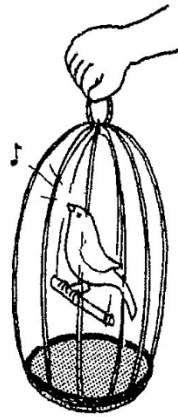


東中国キリスト者

障害を共に学び共に担う会

# シャローム



第一六六号

二〇二五年十一月十四日発行

## 目次

説教……………木谷実牧師 (1)

……………加藤英徳牧師 (3)

キ障共講演会に参加して 千神幸子 (6)

困難は突然に……………赤澤靖子 (7)

会計報告……………宮脇俊昭 (9)

編集後記……………難波幸矢 (10)

## 説教

日本基督教団 湖山教会

牧師 木谷 実

### 「ベトザタの池」

ヨハネによる福音書5章1-9節

イエス様は祭りのときにエルサレムに行きました。ですが向かったのは賑やかな神殿ではありません。ベトザタと呼ばれる池でした。ここはエルサレム市街の北東の端にあります。「そこには五つの回廊があった」と書かれてあります。回廊ですので壁はありませんが雨をしのぐことができる場所です。ここについて「この回廊には、病氣の人、目の見えな

い人、足の不自由な人、体の麻痺した人などが、大勢横たわっていた。」とあります。華やかな祭りの情景とは対照的です。この当時の律法や法律では、体に病氣や障がいのある人

は「汚れている」とみなされていて、したので神殿にも入れず、そして街中で誰かと関わることもできません。街中で暮らすことも、神殿に入ることも許されずに過ごしていました。そしてベトザタの池には「天使が池に降りてきて水が動いたとき最初に水に入った人は癒される。」という伝説がありました。

どこの世界でも都の近くには必ず追いやられた人たちが暮らしている場所があります。様々な理由によって差別を受けている人たちです。このベトザタの池もそのような場所でした。エルサレム神殿とベトサダの池。祭りの時期に対照的な二つの場所があったのです。

イエス様がやってきたのはそのような場所です。そこで38年間病氣に苦しんでいる人と出会いました。その人は池の近くで横たわり、水に入

るために待ち構えています。イエス様は横たわっている人を見ました。彼は答えています。きつと病氣によつて体が素早く動かないのでありましょう。自分が水に入るまえに、他の人が動き出すことを嘆いています。この伝説を信じてベトザタの池にいるのであれば、それは当り前に思うことです。イエス様はここで「じゃあ水に入れてあげよう」とは言いませんでした。「良くなりたいか」と聞いたのは、伝説のとおりにするのではなく、この人の願いが「良くなること」だと思ひ出させるためです。そしてイエス様は「起き上がりなさい」と言われました。その人は良くなって歩き出します。この人が良くなったのは伝説ではなく、イエス様の「起き上がりなさい」という言葉によつてです。この38年間病氣に苦しんでいた人に必要だったのは、自分のことを「見て」、言葉をかけ

てくれる存在だったということです。この人の苦しみ、痛み、辛さを見て、イエス様は声を掛けました。ただ素早く動けるようになるだけではなく、そこで彼は良くなりました。彼は「良くなって」歩き出していったのです。

この箇所にかかれてあるイエス様の姿は、救い主であるキリストを非常によく現わしています。それは言葉によつて人を癒すという奇跡のことではありません。乱暴な言い方になりますが、ここでイエス様が病氣を癒したこと、それ自体はそんなに重要ではないと私は思います。ここでキリストが、まずしたことは「ベトサダの池を訪れた」ということです。祭りの時期、人々が神殿や街中にたくさん集まっているところに行けばよいのに、イエス様はそれをしませんでした。ベトサダの池という外れにある、追いやられた人たちが

集まる場所に向かっています。イエス様が行くのは人が集まらない、行きたいと願わない場所です。痛みや苦しみが集まる場所へと、救い主は向かつていきました。

ベトザタの池とは、周りの環境や特定の場所だけを現わしているのではなくありません。きつと誰もが自分の中にベトザタの池をもっています。周囲の人が賑やかであつたとしても、自分だけが暗く沈んでいるとき。自分が言いたいもない寂しさや不安を抱えているとき。そこはあなたにとつてのベトザタの池です。苦しみや辛さから解放され、癒されたい良くなりたいたいと願う場所。自分の中にあるその場所が、あなたにとつてのベトザタの池です。

そこへイエス様は来てくれて声をかけます。そのときに人は、良くなります。病が癒されるかは分かりませんが、良くなります。床をかつい

で歩き出すために必要なのは、イエスが人間のしんどい場所に来てくれることなのです。

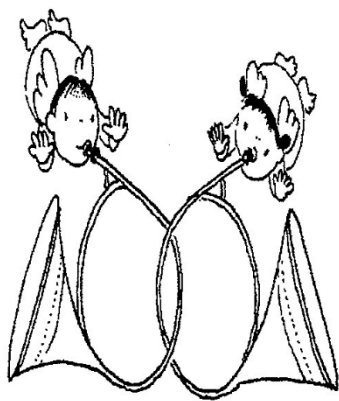
イエス様が来てくれるのは、あなたのベトザタの池です。イエス様はあなたのしんどい場所に来てくれます。他の誰も来てくれず、理解してくれず、そして見捨てられたと思つたとしても、来てくれるのがキリストです。イエス様はあなたのしんどい場所、痛みや苦しみ、不安へと来てくれます。

そして、何をしてくれるのか。見て、声をかけます。あなたのことを理解して、全てを知って、声をかけます。「良くなりたいか」と。

それは目には見えず、聞こえもしない出会いでしょう。しかしイエス様はあなたのもとへと必ずやってきます。そのイエス様との出会いを確

信したとき、救い主によって救いへと招かれます。

それによつていつ良くなるのかは分かりませんが、癒されて良くなつて歩き出すのは、イエス様の呼びかけに答えたからです。「良くなりたいか」と聞いたイエス様に答えたからです。私たち人間の抱えるしんどい場所に、イエス様は来てくれます。他の誰でもなく、救い主が来てくれます。そこでキリストに出会ったときに。良くなつてまた、歩き出していくことが適うのです。



## 説教

日本基督教団 蕃山町教会

加藤英徳副牧師

「失われたものが探され救われる」

「ザアカイ急いで降りてきなさい。今日はぜひあなたの家に泊まりたい」エリコにやってきたイエス様は、御自分を見るため木に登ったザアカイという人物を見上げてそのようにお語りになりました。与えられた箇所は、イエス様がエルサレムに向かう途中の出来事になります。そしてこの後イエス様は十字架におかかりになり私たちの罪を贖われます。言ってみれば、これからご自分に何が起こるのかをご存じでありながらその場所に向かうおうとしている、その道中において与えられた箇所の出来事は起こったというようになります。

ところで与えられた箇所でのそのような状況の中イエス様から声をかけられたザアカイがどのような人物として理解されていたかは、与えられた箇所を目を向けるときの知らされることとなります。徴税人を生業としていた彼は自分たちを支配するローマのために同胞から金を集める「裏切者」として見られました。

もつとも与えられた箇所を見ると彼が徴税人の頭だったと記されています。また、この後イエス様に告げた言葉を見ると、そんな彼の財産の中にはだまし取ったものもあったようですし、だからこそ嫌われても仕方がないと思いたくもなりますが、彼が人々から避けられていた理由はそれだけではありませんでした。

というのも彼はその仕事の性質上自分たちとは異なる信仰の人々と接しなければなりませんでしたが、そのことが彼を神様に対して「罪深い男」

としていたからです。つまり彼は「徴税人」という生業のため「罪深い」状態として見られていたのであり、それをやめないということでは罪を犯す可能性を自ら高めていたのです。ところで律法は、故意に罪を犯した場合その罪は赦されないと告げています。

だからこの時そんな背の低い彼の事を担ぎ上げてくれる人は誰もいなかったのであり、そのために彼は木に登らなければならなかったのです。

「徴税人」という生業のためです。律法を破り「裏切者」という目で見られていたのが彼ですが、振り返って金回りがよくなるからといってその扱いを受け入れる、或は故意に神様に罪を犯していると見られる、そうやって神様や仲間との関係が途切れることを喜んで受け入れることがあるかといえは当然ですがそんなことはいはずです。

与えられた箇所にはその辺りのことは全く記されていませんから読み込みすぎかもしれませんが、生業として「徴税人」を選んだザアカイは彼の置かれた状況の中で与えられた役割を負わなければならなかったのかもしれない。そしてその事の重大さを多くの人に遮られ近くにお越しになつたイエス様を見ることが出来なかった事で感じたのかもしれない。

つまりこの時彼は自らが置かれた状況を改めて知らされたのです。記されていないことですが木に登ったその時彼の心の中には「どうして自分ばかりが」という思いが渦巻いていたはずです。振り返って私たちの日々もそうかもしれません。

毎日の生活の中で時として考えもしなかったことが起こることがあります。その結果望まないどうしようもない状況に巻き込まれることがあります。そこでは誰の助けも得られない

ことだつてあります。もつと言えは全てが敵に見えるような事だつてあります。その結果「どうしてこうなった」という思いになりまるで神様から見放されたような絶望的な気分に関じこもつてしまうこともあります。

ところで、そのような思いを抱く私たちでありザアカイに対して与えられた箇所が告げるのは、神様はそのような思いに閉じこもる私たちのことを見放してはいないということです。もつと言えはそんな私たちに向かつて常に呼びかけてくださっているそのことになります。つまり全てから見放されたという思いに閉じこもる私たちでありザアカイのことを神様は、そしてその独り子であるイエス様は、ご存じであると告げるのです。

それもただ知っているのではありません木のうから見ている「ザアカイ」どこかの誰かとして知っているのではありません。「ザアカイ」と呼びか

けたことから明らかなように大勢の中にいながらその中の一人であるこの私のことをご存じであると呼びかけてくださるのです。

置かれた状況のため人々から距離を置かれ罪人とみなされ「どうしてこうなった」という思いに閉じこもつていくような私たち一人一人のことをイエス様はそして父なる神様は忘れることなくご存じなのです。それだけではありません。そんな彼に向かってイエス様は「今日はぜひあなたの家に泊まりたい」と告げました。

そのお言葉を通してザアカイは自分とかかわりが無いと思っていたイエス様が実は自分とかかわりがある自分のもとにやって来られたのを知らされるのです。言ってみれば律法を破る「罪人」とみられ、人々から関係を断ち切られていくところにも神様は来てくださるその事が示されたのです。そうやって「どうして」という

思いに閉じこもる私たちをそこから解放してくださるのです。その結果それまでよりどころとしていたものは意味をなさなくなります。だから彼らご自分のところにとどまってくださったイエス様に持っていたものを手放すことを告げたのです。

振り返って私たちの歩みはあのザアカイと同じです。起こることを前に驚きどうしてこうなったのかという思いに捕らわれ自らをよりどころとしにその中に閉じこもるのです。ですがそんな私たちのことをイエス様はご存じです。ご存じなだけではなくそんな私たちを閉じこもった場所から神様のほうへ連れ出してくださるためイエス様のほうから来てくださるのです。そしてそんな私たちと関わってくださいるのです。



## キ障共講演会に参加して

倉敷教会 千神幸子

9月22日、蕃山町教会で開催されたキ障共講演会に参加しました。講師は、全国キリスト教障がい者団体協議会会長代行であり、神戸・北六甲教会代務者の白井進牧師。演題は「神には価値のない命はない」、聖書箇所はマタイによる福音書25章40節でした。白井先生には障がいを持つ息子さんがおられ、この日も朝、奥様と共に息子さんの食事の準備をしてから来られたとのこと。「私は主夫をしています」と自己紹介され、宿泊を伴う出張は可能な限り避けておられるそうです。今回も、22日に岡山で講演された後、神戸に戻られ、翌23日には鳥取での講演に臨まれました。

息子さんのお名前は「のぞみ」さん。希望を感じさせる、すてきな名前です。幼い頃から何度も手術を受け、現在には車いすで生活されていますが、絵を描くことが大好きで、とてもすてきな作品を描かれます。

普通学級に通うために、排泄を自分でできるように訓練を重ね、小学校5年生になって障がい児学級から普通学級へ移ることができました。

講演では、『障がい児・重度障がい児は生まれていいのか』という問い、出生前検査や着床前検査の問題にも触れられました。「君は愛されるために生まれてきた」という詩に続き、「生んでくれてありがとう」、そして母からの「生まれてきてくれてありがとう」という詩が紹介され、深い感動を覚えました。

旧約聖書には「強くあれ」とあり、新約聖書ではパウロが「弱いところにこそ神は働く」と語っています。先生は「教会は弱さとともに生きる社会のモデルとなつてほしい」と強調されました。

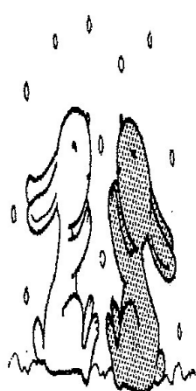
現代は人を能力で分ける時代になつていきます。「津久井やまゆり園」事件では、一人の職員が「生きる価値がない命」として多くの入園者を殺傷しました。しかし、私はどのような人も「死んでいい」とは思えません。

イエスは姦淫の罪で訴えられた女性に対し、「罪のない人から石を投げなさい」と言われました。人々は一人また一人とその場を離れていきました。白井先生は「神様、私は石を投げることをできない人間です。お許しください。でも、残り少ない人生を生かしてください。私は障がいを持つ人とともに生きたいのです。この願いをどうぞ聞き入れてください」と祈られました。



私の身近にも、24時間の医療ケアが必要な子どもを育てている若い夫婦がいます。その一生懸命な姿に、小さな命の輝きに、思わず神様に祈りたくなります。もしどこかで出会うことがあれば、どうぞ「こんにちは」と声をかけてあげてください。「社会の中の一人として生きられる社会」は、そんな声掛けから始まるのだと思います。神様の愛を忘れずに生きていきたいものです。

白井牧師の生き方に触れ、明日はもっと明るい社会になるかもしれないという希望を感じました。私も、残された命を精一杯生きようと思いながら、会場を後にしました。



### 困難は突然に

倉敷教会 赤澤靖子

長患いの夫が亡くなつて十七年。我が家の苦難を書くことは、後々もう無かるうと思ひ依頼をお受けし書かせていただきました。

一九八〇年頃、夫は四〇代の働き盛り、成績を上げる為には、深夜も接待を厭わぬモーレツ営業マンでした。夏の朝、突然倒れて救急搬送されて、気付いた時には脑梗塞での半身不随でした。軽症で退院時には日々の暮らしには差しさわりのない程だったのに...

スーツを着て革靴を履く人には納得できずに立ち止まってしまいました。家中暗くて、笑わなくなった孫たちを案じた私の母が動きました。通っていた教会の牧師先生を頼つて相談すると、入院してリハビリの出来る所

を探して下さいました。そこで教会へも通ひ、心のリハビリにも励んだのでしよう。受洗にも繋がりキ障共の難波幸矢さんとのご縁も出来ました。

その後も何度も発作を繰り返し、五十代では失語症になり寝たきりとなつて、要介護度五の身体障がい者になりました。がそれまでの暗さは消えて、明るい笑顔の人へと変身したのでした。お世話して下さいた牧師先生は「神様の笑顔を写しとるんじや」と言われました。そして私に「生まれて来る日、その人の重荷も幸せもリュックに詰めて背負わせ、ポンと押し出し生きよと言われる。道も整えて守つてくださるから安心なさい」と言われたのでした。造つた責任を負われる神様を教えて下さいました。イザヤ書四十六章二、四

聞け、ヤコブの家よ

またイスラエルの家のすべての残りの者よ

母の胎を出た時から私に担われて  
いる者たちよ

腹を出た時から私に運ばれている  
者たちよ。

あなたが年老いるまで、私は神。

あなたがたが白髪になるまで、私は  
背負う。

私が造った。私が担おう。

私が背負って、救い出そう。

三十八歳から六十六歳迄、花の中年  
は夫の介護でした。「何で私なん？」

「もう止めたい！」と怒る日泣く日を  
重ねた後、「アナタ寝る人、私看る人」  
と覚悟が決まりました。多くの教会の  
人が聞いて下さり、助けて下さいまし  
た。良い時代に良き師、良き友に恵ま  
れました。感謝なことでした。

少しさらさら書き過ぎました。行間  
を埋めるために短歌を添えます。

俊足が自慢の夫の足細り ベッド  
に伏して見つめる駅伝

長病みの失語の夫は 時としてわ  
れの顔見てふふと笑う

四半世紀超えて患う夫の傍 看取  
る私が和らぐ不思議

入院を動けぬ体が拒否してた 失  
語の夫の最後の抵抗

覚悟決め看取り続けた日々なりき  
夫は一人ですーつと逝きたり

歳一つ加えて夫は夏に行く 律儀  
なる人夏生まれなり

この世には誇れるものは無けれども  
寝付いて微笑む夫がいました

絶望と涙のわれに 神ありと 説  
く師に会いてわれに今日あり

国籍を天に移さん準備なり この  
世のすべて手放す終活





会 計 報 告

2025年9月～2025年10月

会計 宮脇俊昭

| 収 入        |         | 支 出                 |              |
|------------|---------|---------------------|--------------|
|            |         | シヤローム               |              |
| 個人会員(51口)  | 102,000 | 交通費                 | 26,186       |
| 会費累計(110口) |         | 発送作業(9/3)           | 1,430        |
|            |         | 会場費                 | 2,000        |
|            |         | 送料                  | 3,220        |
|            | 164     | (鳥取分)               |              |
|            |         | (岡山およびほか県外)         | 15,850       |
| 預金利息       |         | 用紙代(8/26)シヤローム用コピー紙 | 3,686        |
|            |         | 会議費                 | 3,200        |
|            |         | 交通費                 | 1,200        |
|            |         | 役員会(10/17)          | 1,200        |
|            |         | 会場費                 | 2,000        |
|            |         | 講演会                 | 102,980      |
|            |         | 講師謝礼                | 鳥取・岡山合わせて    |
|            |         | 講師交通費               | 50,000       |
|            |         | 礼拝感謝                | 鳥取・岡山交通費合わせて |
|            |         | プログラム印刷             | 30,000       |
|            |         | 鳥取講演会補助             | 18,000       |
|            |         | 鳥取支部活動費             | 450          |
|            |         | 鳥取支部総会参加費(宮脇参加)     | 4,530        |
|            |         | 交通費                 | 70,000       |
|            |         | 高速料金2590円往復         | 12,780       |
|            |         | 燃料190km往復*20円       | 5,180        |
|            |         | 事務手数料(口座振り込み・通知)    | 7,600        |
| 小 計        | 102,164 |                     | 2,800        |
| 前 月 より     | 701,554 |                     | 217,946      |
| 合 計        | 803,718 |                     | 585,772      |

〔会費・献金の納入を、感謝申し上げます。〕  
個別の領収証を希望される方は、遠慮なく  
お申し出ください。従来通り送付いたします。  
よろしくお願ひいたします。

(年会費)

2025年度分

(日キ岡山信愛教会)清水章文、清水洋美

(日キ米子教会)松本剛典、浜副薫、斎藤敏行、斎藤真由美

(日キ岡山教会)佐々木まゆみ、畑恭二・幾美、田中紀章、望月英子

板野昇子、今城信子、尾島夫規子、富田茉莉子、浜中昭代

(日キ湖山教会)伊井尚子、岩佐洋子、岡田由美子、久野芳枝、田口久恵、前田恵、

前田美喜子、森下久美子、森田生子、諸冢香代子、山内英子

(日キ鳥取教会)19名

会 計 報 告

2025年7月～2025年8月

会計 宮脇俊昭

| 収 入       |         | 支 出                    |         |
|-----------|---------|------------------------|---------|
|           |         | シヤローム                  |         |
| 個人会員(8口)  | 16,000  | 交通費                    | 4,600   |
| 賛助会員      | 2,000   | 発送作業(8/29)             | 2,600   |
|           |         | 会場費                    | 2,000   |
|           |         | 会議費                    | 4,320   |
| 会費累計(59名) |         | 交通費                    | 2,320   |
|           |         | 会場費                    | 2,000   |
|           |         | 全国キ障(7/6～7/7 神戸市 宮脇参加) | 43,640  |
|           |         | 交通費                    | 11,640  |
|           |         | 参加費                    | 12,000  |
|           |         | 宿泊費込み                  | 20,000  |
|           |         | 分担金                    |         |
|           |         | 事務消耗品費                 | 2,603   |
|           |         | 払い込み手数料                | 1,836   |
|           |         | 消耗品                    | 767     |
| 小 計       | 18,000  | セロテープ等                 | 55,163  |
| 前 月 より    | 738,717 |                        | 701,554 |
| 合 計       | 756,717 |                        | 756,717 |

〔会費・献金の納入を、感謝申し上げます。〕  
個別の領収証を希望される方は、遠慮なく  
お申し出ください。従来通り送付いたします。  
よろしくお願ひいたします。

(敬称略・順不同)

(年会費)

2025年度分

(日キ倉敷水島教会)武文千恵子、谷野順子、谷野健、宮田博子、山口真知子、

ナルホの会(賛助会員)

(日キ倉吉教会)山口収、山本千寿子

(日キ鳥取新生教会)山田忠義

| 10月末現在資金残高 |         |
|------------|---------|
| 定額預金       | 0       |
| 普通預金       | 333,570 |
| 振替口座       | 196,534 |
| 現金         | 55,668  |
| 合 計        | 585,772 |

(敬称略・順不同)

(年会費)

2025年度分

(日キ岡山信愛教会)清水章文、清水洋美

(日キ米子教会)松本剛典、浜副薫、斎藤敏行、斎藤真由美

(日キ岡山教会)佐々木まゆみ、畑恭二・幾美、田中紀章、望月英子

板野昇子、今城信子、尾島夫規子、富田茉莉子、浜中昭代

(日キ湖山教会)伊井尚子、岩佐洋子、岡田由美子、久野芳枝、田口久恵、前田恵、

前田美喜子、森下久美子、森田生子、諸冢香代子、山内英子

(日キ鳥取教会)19名

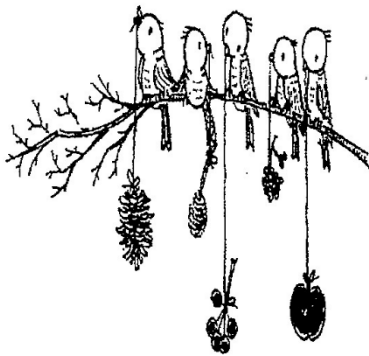
編集後記

難波幸矢

愛するキ障共会員の皆様いかがお過ごしですか。いつまでも暑いなと思っていたら急に涼しくなり、寒い日を感じるようになり、全く気候が安定しませんね。

シャロームを発送する時となりました。ちよつと時間が経って、何をメインに載せるんだっけなんて一瞬考えたりして、全く年は取りたくないものです。

この度は、大変良かったのですが、敢えて白井牧師の講演は皆さんの心に収めておいていただいて、寄せて戴いた感想や日々、詩や俳句などを詠っていらつしやる兄弟、姉妹方の句を載せて頂く事にしました。



初めてその方々の唄に接する方もあれば、ずつと思いを寄せ支えて下さっている身近な方もいらつしやる事でしょう。日々の生活の中から気づいたことや考えさせられたことなどを短い言葉に収めるのは容易ではありませんが、それを納められた時の達成感はまた嬉しいものでしょう。そんなこんなを集めて、ひと時お楽しみただけたらと思います。すぐに寒くなります。どうぞくれぐれも風邪などひかれませんようお気を付けください。

第三十七回 総会の案内

日時 十二月十一日

十時三十分

場所 日本基督教団

岡山教会

「シャローム」 第一六六号

発行日 二〇二五年十一月十四日

発行所 東中国キリスト者

障害を共に学び共に担う会

発行人 事務局長 難波幸矢

〒七〇三ー八二六五

岡山市中区倉田六五八一

電話 〇八六・二七六・二四六七